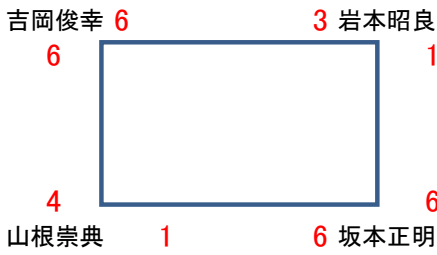


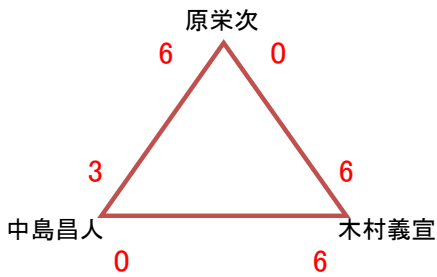
【予選方法:6ゲーム先取セミアド】

予選Aリンク

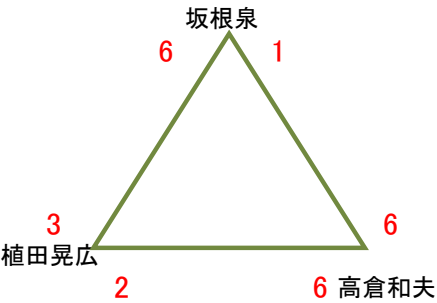


中島昌人	
木村義宣	
坂根泉	
山根崇典	
坂本正明	
原栄次	
植田晃広	
吉岡	
岩本	

予選Bリンク



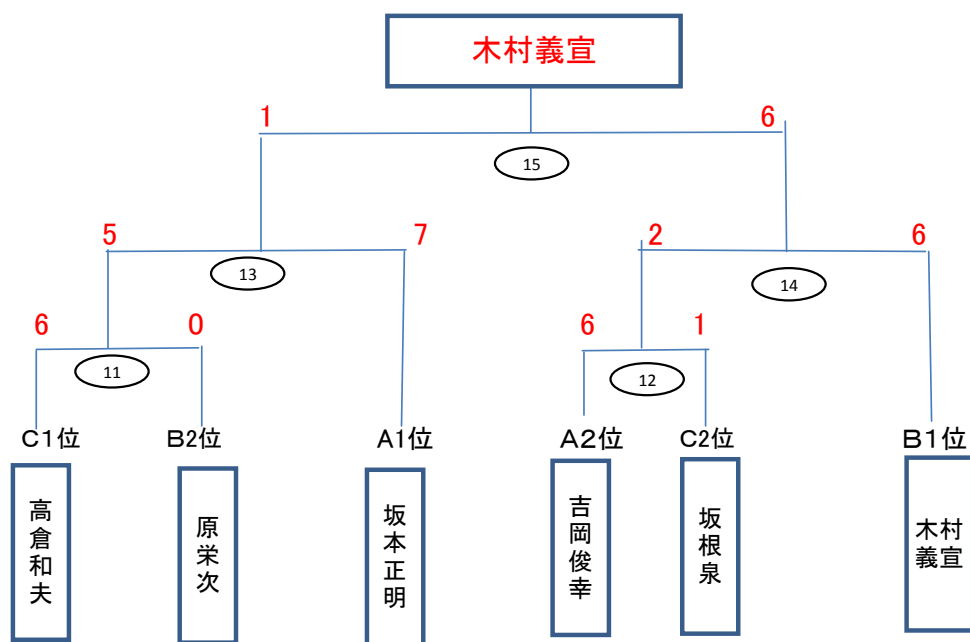
予選Cリンク



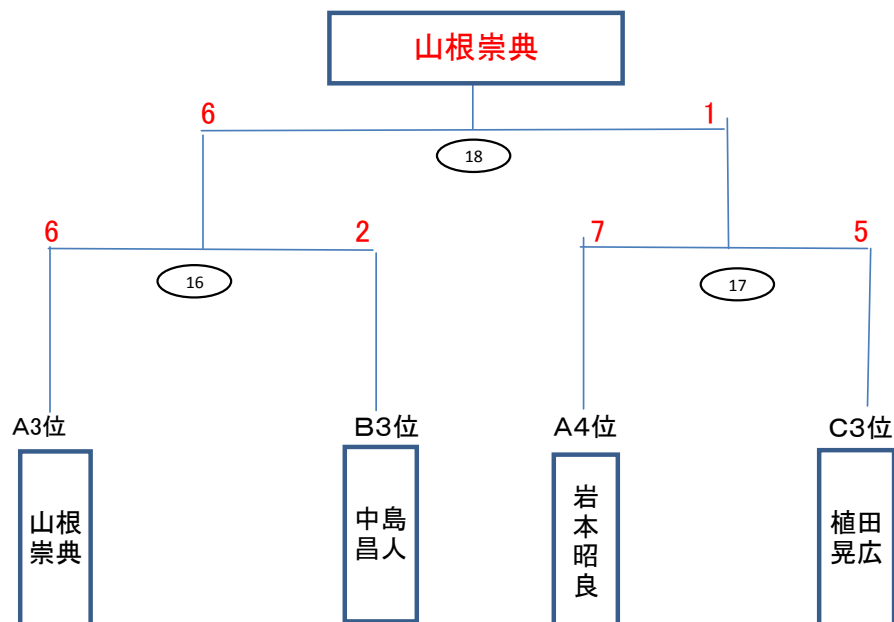
コート割

松江総合運動公園 13:00～			
1節	⑤原一中島	⑧坂根一植田	
2節	①吉岡一岩本	②山根一坂本	
3節	⑥中島一木村	⑨植田一高倉	
4節	③吉岡一山根	④岩本一坂本	⑦原一木村
5節	上位⑪	上位⑫	下位⑬
6節	上位⑬	上位⑭	下位⑮
7節	上位⑮	下位⑯	

上位トーナメント【6ゲームマッチセミアド】



下位トーナメント【6ゲームマッチセミアド】



【月刊ハドスポ】

- 今月のハードコアはいつもの会場が取れず、滅多にない午後開始となる。
- 翌日の益田オープンに備えての、前日入り、酒盛りのため、常連戦士達が大半として不参加。
- 原さん、3月大会以来の出場。田んぼが一段落したからとのこと。
- 高校野球中国大会が同日に同会場で行われたため、大混雑で駐車場停めるとこなし。
ハードコア出場のみなさん、公園内を3、4周してようやく駐車スペース確保。ちなみに坂本さん
5周くらい回って心が折れたのか、駐車できないことを理由にデフォを要請。即却下される。
- 中島さん、高校野球を意識したのか、野球の審判のような出で立ちで登場、そのまま試合に臨む。
- 吉岡さんと木村さん、季節の変わり目による風邪を押しての出場。そんなバッドコンディションの中で
お互い、上位の成績を上げられる。
- 今回ハードコア初出場の三菱農機の期待の新星、岩本くん、他を合わせてもシングルス大会生涯2度目
ながら、しっかり初白星、下位T準優勝に輝く。
- 山根さん、下位T優勝しながらも突然の仕事で早退、表彰式不参加。副賞のVISAは運営委員会に寄付
されることになる！？
- 晴耕雨読といましようか、休憩の合間の読書を欠かさない原さん、今回は、日も暮れた暗闇の中で
黙々と読書に勤しまれる。
- 8月大会に続き、参戦3回目でも2度目の優勝を飾られた木村さん、今回は、4試合で計3ゲームしか獲られ
ていないという、多分、ハードコア史上最少失ゲーム記録を樹立されての圧倒的な優勝を飾られました。
- 今月のMVPは、準優勝ながらも坂本さん。これは満場一致でしょう。準決勝の高倉戦で見せたファイト、
ガッツ、年齢を超越したスタミナ、いやらしいロブ、華麗なバッシング、"ヤバイ"アングルショット、
プロ顔負けのフクラハギ、自分を鼓舞する呻き声、どれもこれも観戦していた他の戦士、たまたま
立ち寄られた植田さんの奥さんとおこちゃままでも釘づけにされていたと思います。
まさに、この前旅立たれた親分も天国から「アツバレ！！」とお墨付きをくれていることでしょう。
- そして、今月は何といっても、植田さんの大カンバック賞でしょう！！大病を乗り越えられ、
再び、テニスラケットを手にされるようになったことだけでも凄いことなのに、以前とは勝手が
違うコンディションと折り合いをつけ、色々工夫を凝らされ、テニス復帰から瞬間に、このハードな
真剣勝負の舞台に戻って来てくださいました。それもなんと、あのドフラットフォア(ご本人はグリグリスピ
ンと主張されますが...)と思わず苦笑いするしかない悪名高いドロップショットを引っ提げて！！
勿論、まだまだコンディションは万全ではないでしょうが、ハードコアは、「本番」の空気感を持ちつつ
色々試せる絶好の機会の場でもあります。新しい植田さんのスタイルを確立するためにはもってこいの
場だと思いますので、是非これからも最大限活用してやって下さい。
さらにその上、ハードコア運営の面でも、邪念が強く自己中なワンマン主催者の唯一のお目付け役として、
ハードコアのスーパーバイザーとして、その存在はいつも待望されております。そういう意味からも
今回のカムバックは本当に良かったと喜んでおります。改めまして、植田さん、「お帰りなさい」です！！